

# ***Systemsoft***

株式会社システムソフト<7527>

2020年9月期 [第39期]  
決算補足資料

2020年11月13日

## 代表メッセージ

---

新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

景気は緩やかな回復基調が期待される一方、企業のIT投資全般におきましては、先進的な企業においては、デジタルトランスフォーメーション（DX、X DIGITAL）領域への投資が引き続き進んでいくものと予測しております。当社といたしましては、新たなテクノロジーの活用やシェアリングエコノミー等の潮流が生じ各企業が「デジタルネイティブ企業」へと変革する取り組みが進むこれからの環境の変化をビジネスチャンスと捉え、引き続き RPAソリューション、子会社株式会社DigiIT（デジット）の事業活動を通じたWEBコンサルティングといったDX領域のほか、主要顧客と提携し、そのシェアリングエコノミー事業・プラットフォーム事業とのシナジーを活かした新たなサービスの提供を引き続き加速させてまいります。

記念すべき第40期を迎え、引き続きIT企業に求められる企業価値創造や風土を醸成し、将来に渡りマーケットから求められる魅力ある企業グループを目指してまいります。

引き続き、ご指導・ご鞭撻の程、宜しく願いいたします。

株式会社システムソフト  
代表取締役社長 吉尾 春樹

# 目次

---

- |                  |       |
|------------------|-------|
| 1 . 2020年9月期決算概要 | P. 03 |
| 2 . 今後の事業展開      | P. 07 |
| 3 . 2021年9月期業績予想 | P. 11 |
| 4 . TOPICS       | P. 13 |

# 1. 2020年9月期 決算概要

## 2020年9月期 通期連結業績概要

下期から開始予定だった大型案件の翌期ずれ込みや、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部顧客の広告費用、予算の削減や新規施策案件の稼働が鈍化したことにより、売上高・営業利益が減少

(単位：百万円)

	2019年	2020年	前年差異
売上高	3,000	<b>2,863</b>	△137
売上総利益	763	<b>339</b>	△424
販売管理費	610	<b>590</b>	△20
営業利益	153	<b>△251</b>	△404
経常利益	85	<b>△275</b>	△360
特別利益	—	<b>4</b>	4
特別損失	△1,644	<b>△350</b>	1,294
税引前四半期純利益	△1,558	<b>△621</b>	937
親会社株主に帰属する四半期純利益	△1,724	<b>△655</b>	1,069

## 貸借対照表

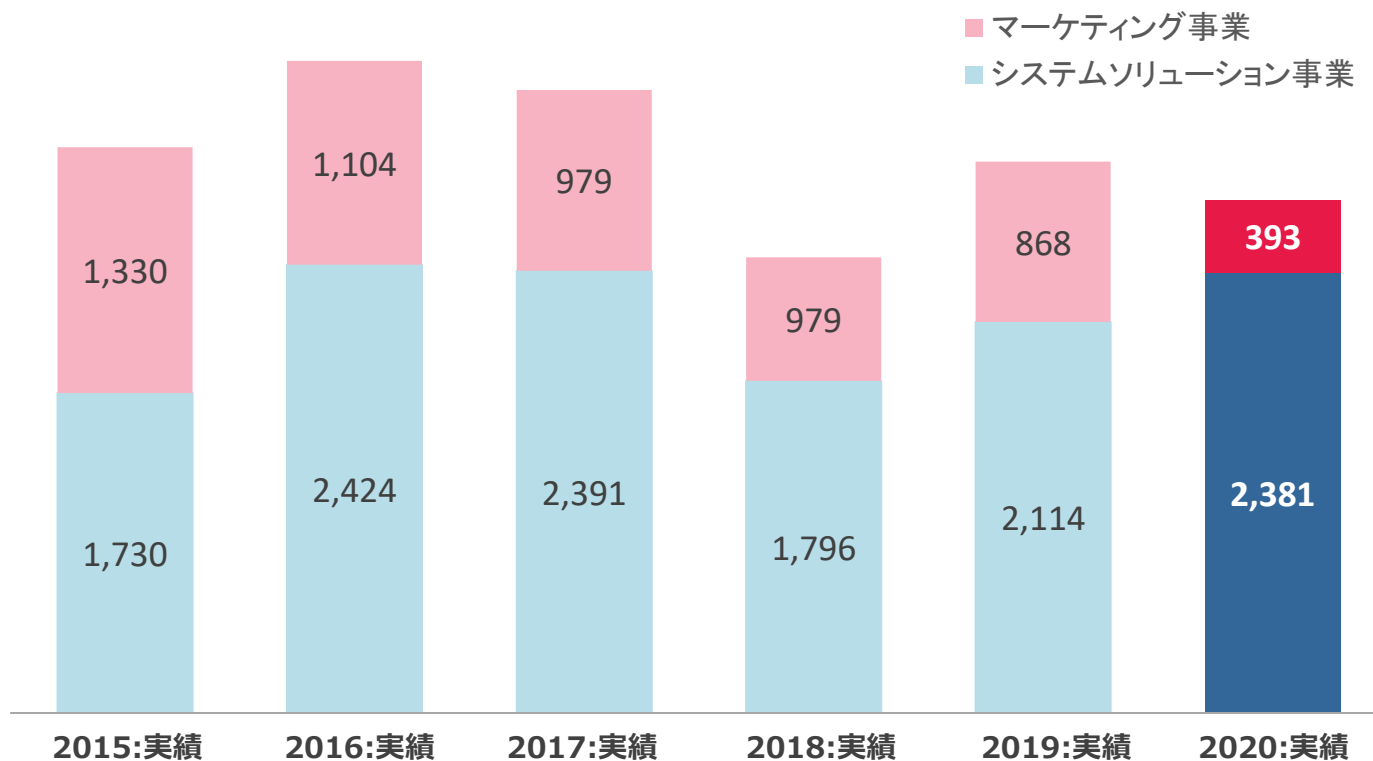
(単位：百万円)

	2019年	2020年	前年差異
流動資産	3,425	<b>3,258</b>	△167
現金及び預金	1,831	<b>1,789</b>	△42
固定資産	2,185	<b>1,738</b>	△447
有形固定資産	33	<b>38</b>	5
無形固定資産	1,019	<b>944</b>	△75
投資その他の資産	1,133	<b>755</b>	△378
流動負債	442	<b>419</b>	△23
固定負債	421	<b>612</b>	191
純資産	4,746	<b>3,964</b>	△782
資本金	1,506	<b>1,511</b>	5
資本剰余金他	3,240	<b>2,453</b>	△787
総資産	5,610	<b>4,997</b>	△613

## 事業別売上高の推移

システムソリューション事業は順調に推移し、前年を267百万円上回る売上高を計上。マーケティング事業においてはSEO業務にてアルゴリズム変遷による外部施策の影響により、売上高が縮小。昨年を475百万円下回る結果となった。

(単位：百万円)



## 2. 今後の事業展開



## 注力ポイント

---

- 第40期も引き続き、以下2つの事業領域に注力し、構造転換を推進
- RPA事業をシステムソフトへ集約し、新しいサービス提供・販売に注力
- プロジェクト管理のシステム化・自動化によるQCDの強化

### Point①

## 顧客・サービスの種類、パートナー等の 多様化への対応

➔ SESなどシステムソリューション事業における  
既存拡大+新規顧客の獲得

### Point②

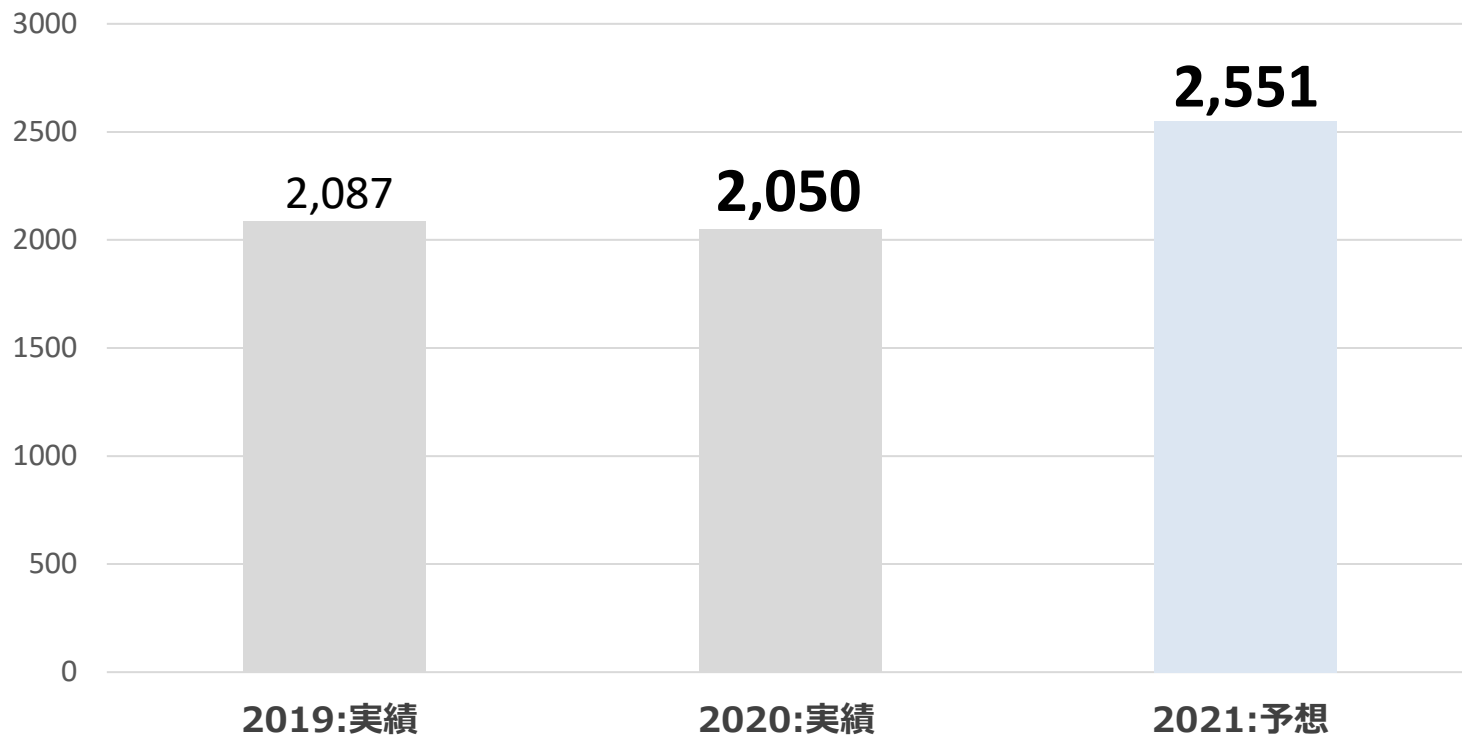
## AI、RPA、ビッグデータ、IoT、クラウドな どを活用したデジタルトランスフォーメー ション（DX）サービス への一層の注力

➔ DX分野の継続的な拡大+新しいビジネスモデルの確立

## SESの売上高推移

第39期に注力したSES売上高は安定的に推移。引き続き注力していく

(単位：百万円)



SES売上

2,087

2,050

2,551

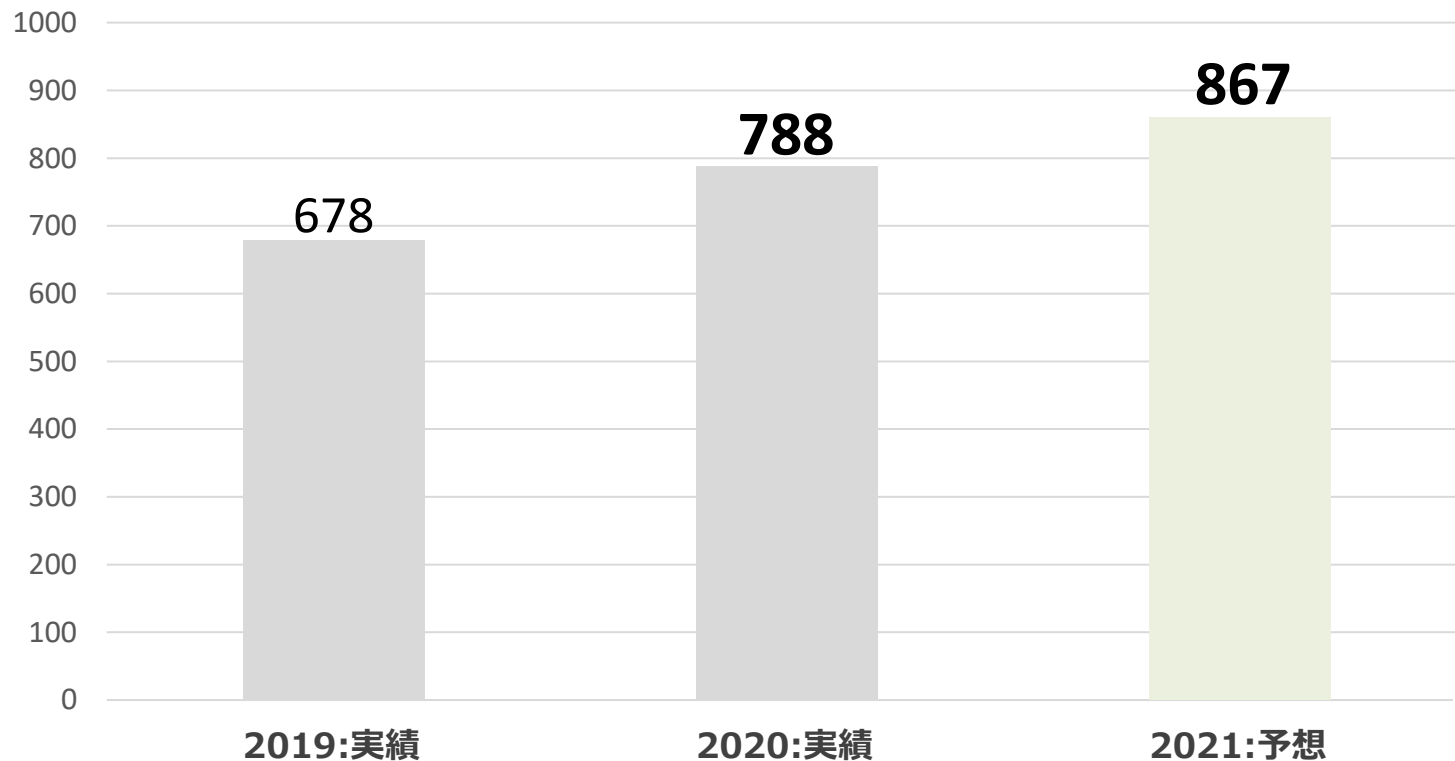
※SES売上高には請負含む

**Point②**

## デジタルトランスフォーメーション（DX）の売上推移

DX領域へ一層注力し、積極的なサービス提供により売上高成長率を維持

(単位：百万円)



<b>DX</b>	<b>678</b>	<b>788</b>	<b>867</b>
-----------	------------	------------	------------

※これまでDeps(DigiIT efficiency and productivity Serviceの略称)領域として集計していた売上高をDX領域に広げて再集計しています。



### **3. 2021年9月期業績予想**

## 2021年9月期業績予想（第40期）

■ 筋肉質な経営基盤を整備し、SES、DX、両事業の売上拡大による収益向上を目指す

（単位：百万円）

	2020年予想	2020年実績	2021年予想	増加・改善額
売上高	3,100	2,863	3,100	237
営業利益	20	△251	150	401
経常利益	10	△275	100	375
親会社株主に帰属する四半期純利益	△410	△655	60	715

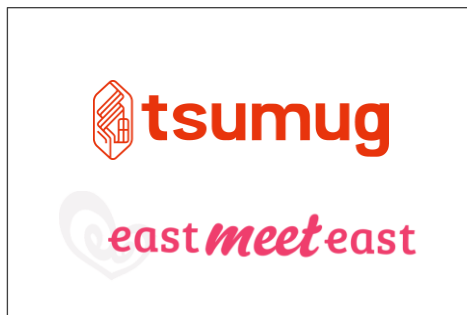


# 4. TOPICS

## その他の関連会社

### (株)アライアンステクノロジー

当社事業と関連する企業へのアライアンス事業



### S2i (株)

IOT関連事業を推進

主要取引先であるIoTスタートアップtsumug社へ、アライアンステクノロジーが出資



### 全管協ポータルサイト(株)

業界初のAIを利用した物件情報サイトを運営

サイト提携先であるakibaco社へ、アライアンステクノロジーが出資



The background features several thin, dark gray lines that intersect to form a series of geometric shapes, including triangles and quadrilaterals, creating a modern, minimalist aesthetic.

# *Towards AI.* **Systemsoft**

本資料は、株式会社システムソフト（以下、「当社」といいます）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。また、本資料に記載されている計画や見通しは作成時点における情報に基づき当社が判断し予測したものです。今後の経営環境の変化により、計画や見通しが大きく変動する場合があります。その場合には本発表の内容の更新・修正の義務は負うものではありません。以上を踏まえ、投資家の皆様にはご自身のご判断にて投資くださいますようお願い申し上げます。